

## 日本アニメーション学会 研究・教育委員会主催 公開ディスカッション

### 『米・日・韓を貫く商業アニメーション製作の受発注体制に関する史的検証にむけて』

布山タルト 研究・教育委員長

この度、横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院が主催する国際シンポジウム（12/30 付ニューズレター参照）の登壇者として来日される宣政佑（ソン ジョンウ）氏を、同校のご厚意により本学会でもゲストとしてお招きし、公開ディスカッションを開催することになりました。

宣氏は、韓国の漫画・アニメコラムニストとして知られ、翻訳者、出版企画などマルチに活躍していらっしゃいます。昨年刊行された『TOBIO Critiques #1』には、論文「日韓国交正常化とアニメーション合作」を寄稿されました。今回のディスカッションでは、同論文を足がかりとして、アニメーション学会ならではの新規性の高い研究分野を開拓しうるテーマを設定しています。

学会員以外の方々にもご参加頂ける公開ディスカッションですので、学生の皆さんも含め、ご興味、ご関心のある方は、是非ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

#### ◎概要

アニメーションの商業的な製作はかねてから、国境を越えて他国の企業と提携し、分散した各工程を受注・発注する事業としての側面を持ってきました。アメリカ合衆国からアジア諸国へ、また日本から韓国や台湾、東南アジアなどへの発注は、各国のアニメーション製作体制と産業構造の確立やその変化に、少なからぬ影響を与えてきたと考えられます。

今回の公開ディスカッションでは、まず日本側企業から韓国側企業への発注開始を、いわゆる「日韓基本条約」締結による国交回復後の、民間企業による技術協力開始という歴史的・政治的な文脈から分析している宣政佑氏より、その最新の研究成果をご報告いただきます。

また、東映動画株式会社で1980年代に、マーベル等のアメリカ側企業からの受注作品の制作に演出家として関わった渡部英雄氏からは、その経験と制作中間資料に基づいて、日本側の具体的な体制について解説していただきます。

今回のディスカッションが、これまでまだほとんど事例のない下請け制作に関する歴史的な実証研究を促進する契機となれば幸いです。

#### ◎登壇者

報告者（1）：宣政佑（韓国の漫画・アニメコラムニスト）

報告者（2）：渡部英雄会員

ディスカッサント：木村智哉会員

◎日時：2016年1月15日（金）15時～18時（14時半開場）

◎会場：筑波大学東京キャンパス文京校舎 121 講義室

東京都文京区大塚 3-29-1

丸ノ内線茗荷谷駅下車「出口1」徒歩5分程度

[https://www.tsukuba.ac.jp/access/bunkyo\\_access.html](https://www.tsukuba.ac.jp/access/bunkyo_access.html)

◎申込み：事前申込み無しにご来場頂けますが、会場準備の都合上、参加希望の方はなるべく以下の問い合わせ先まで、お名前とご所属をご一報頂けますと幸いです。

◎問い合わせ：

布山タルト（研究・教育委員長）

info[at]taruto.com（[at]を@に置き換えて送信して下さい）

---

◎主催：日本アニメーション学会 研究・教育委員会

◎共催：横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院

◎企画協力：日本アニメーション学会 歴史研究部会